

湖東圏域公共交通活性化協議会（滋賀県彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町）

定住自立圏構想に基づき、1市4町による「湖東圏域公共交通活性化協議会」を設立し、**市町間の連携による広域交通ネットワークを形成**。また、**路線バスと乗合タクシーの役割分担見直し**等による再編で、**市街地回遊性の向上と交通空白地の解消を実現するとともに、ドライバー不足にも対応**。利用促進にも取り組み、7年間で**路線バス利用者は30%増、乗合タクシー利用者は3倍以上増加**。



（取組の概要）

1. 多様な主体の実質的参画

- 1市4町による**湖東定住自立圏構想に基づき**、圏域全体の公共交通の活性化とネットワーク化を図るため、**既存の法定協議会を「湖東圏域公共交通活性化協議会」として拡大発展**。

2. 創意工夫

(1) 交通ネットワーク再編による効率性・利便性向上

- 平成30年度、**路線バスと予約型乗合タクシーの役割分担見直しによる効率化、市街地回遊性の向上**を目的として、「**湖東圏域地域公共交通再編実施計画**」の認定を受け（近畿初）、以下の取組を実施。
 - ◇ 需要の高い路線の増便や主要施設を効率的に経由するよう路線の見直し
 - ◇ 路線バスと乗合タクシーの競合区間解消
 - ◇ 著しく利用者の少ないバス路線の乗合タクシーへの移管

(2) 予約型乗合タクシーの利便性向上

- 予約型乗合タクシーについて、一部市町が独自に運行していたものを**運行範囲を圏域全体に拡大し、市町間での移動を可能にするとともに、システム・運賃制度を統一**
- 相乗りで利用すれば運賃が半額になる「**ふく割**」や路線バスとの乗り継ぎ割引の実施、定期券・回数券の発売など、利便性向上に向けた取組を展開。**乗合率は導入時の1.22人／台から1.59人／台に上昇**。

(3) 利用者増に向けた取組

- このほか、利用促進に向けた以下のような取組を実施した結果、平成30年度の**路線バス利用者は約30%増加し、予約型乗合タクシー利用者も3倍以上に増加**（平成23年度比）
 - ・協議会での取組や公共交通の利用状況等を記事にした**ニューズレターの全戸配布**
 - ・小学生向けの**バスの乗り方教室** ・公共交通を利用した家族での**外出促進キャンペーン**

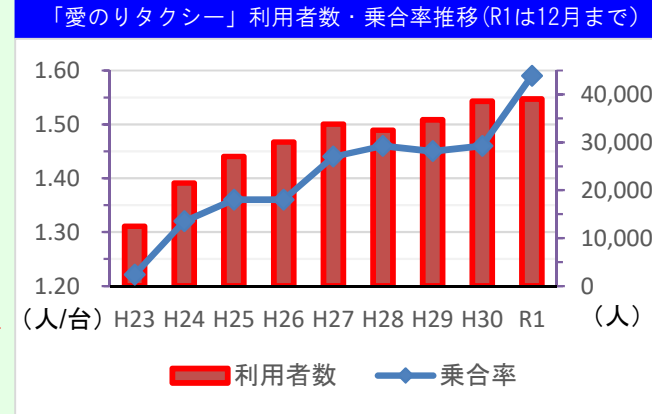
3. 自立性・継続性

(1) 圏域将来ビジョンとの連携

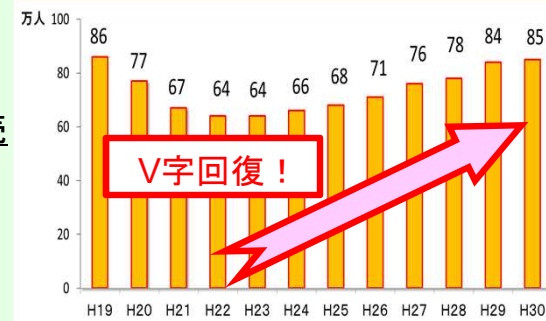
- 圏域全体の将来ビジョンを定めた定住自立圏共生ビジョンに、具体的取組として「**圏域全体を見据えた公共交通ネットワークの構築**」を位置づけ。また、**市町間で協定を締結し、圏域内での連携した取組体制を確立**。

(2) ドライバー不足への対応・公共交通空白地の解消

- **バス路線再編による運行効率化の結果、路線バスの運行に必要な車両数及び乗務員数が減少し、バス事業者のドライバー不足に対応**。再編により廃止された路線は、乗合タクシーに移管することで**圏域内の交通空白地をほぼ解消**。



湖東圏域における路線バス利用者数推移



ご当地キャラ博in彦根2015の開催にあわせて公共交通のPRを行うゆるキャラたち

